

政権公約検証大会開催

～連合は、民主70点 自民45点と評価～



ーム・ポリシーウォッチ、全国知事会（今回は参考）の9団体である。

連合の評価は

民主党70点、自民党45点

連合は、古賀事務局長が両党の政権公約の評価を発表。政権公約の評価基準を「働く者の生活実感をもとに率直に評価した」と、述べる。ともに、民主党の政権公約を70点、自民党の政権公約を45点とした理由を説明した。

「生活者重視」に舵をきる

民主党マニフェスト

民主党のマニフェストについては、「政権交代」、「暮らしのための政治を」、「国民の生活が第一」など、民主党の政策のターゲットや国民へのメッセージが明確である点を高く評価。

さらに、政策の5つの柱、政権構想、主要政策の工程表・財源が明示されており検証がしやすく、マニフェストとしての形式要件が整っているとして、20点（30点満点）とした。

政策内容についても、家計への大胆な支援、社会保障制度の抜本改革等、政策の軸を「生活者重視」に大きく切り替える内容であるとして50点（70点満点）とした。

これまでの反省が見えない
自民党マニフェスト

一方、自民党のマニフェストについては、国民の生活が4年間でどのように変わるのか実感できる明確なメッセージがないと指摘。

麻生内閣の政策の踏襲・補強の域を脱しておらず、国民の期待に応えるものになっていないとして、形式要件10点、内容35点、合計で、45点の評価を下した。

民主党の5原則・5策は

高評価

政権運営ビジョンに関しては、民主党が、「政権構想の5原則・5策」として明示したことを評価。政権獲得後ににおける政権運営に対する意欲を感じる点を、連合のみならず、多くの参加団体が評価した。

(以上)

政権選択の判断材料 政権公約検証大会開催

8月9日、新しい日本をつくる国民会議（21世紀臨調）主催の政権公約検証大会が開催された。この検証大会は、各党の政権公約（マニフェスト）を検証することで、政権公約を中心とする責任ある政党政治の確立に貢献すること等をめざしている。

評価する団体は、連合をはじめ経済同友会、日本青年会議所、PHP総研、言論NPO、日本総研、構想日本、チ

連合のマニフェスト評価

	民主党	自民党
・ 政権公約に関する総合評価	70	45
形式要件（30点満点）	20	10
内容（70点満点）	50	35
・ 政権公約に関する政策分野別評価		
外交・安全保障	65	55
経済政策（マクロ経済運営・成長政策）	75	40
財政政策・税制改革	70	40
少子高齢化への対応	70	40
地球環境・資源エネルギー	65	55
雇用・生活者	70	45
地方分権	55	40
農業政策	65	50
教育改革	65	40
政府の改革	60	50
・ 政権運営ビジョンに関する評価	50	21